

各位

## 令和7年度稲作情報 第3号について

このことについて、送付しますので業務及び水稻栽培の参考にしてください。

## 令和7年度 稲作情報 第3号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

## 1 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を6分割。1 半旬は1~5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成22年~令和2年(11か年)の平均値

月	半旬	平均気温 (℃)		最高気温 (℃)		最低気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7
4	6	16.4	<b>15.4</b>	21.2	<b>22.5</b>	11.9	<b>9.1</b>	19.6	<b>8.5</b>	34.4	<b>52.8</b>
5	1	17.4	<b>16.5</b>	22.4	<b>22.9</b>	12.8	<b>11.0</b>	20.1	<b>24.0</b>	35.5	<b>46.2</b>
	2	18.1	<b>16.5</b>	23.1	<b>21.3</b>	13.6	<b>12.8</b>	24.4	<b>53.5</b>	35.0	<b>25.9</b>
	3	18.8	<b>18.5</b>	23.7	<b>24.8</b>	14.3	<b>13.1</b>	26.1	<b>0.0</b>	35.1	<b>39.7</b>
	4	19.4	<b>22.1</b>	24.3	<b>26.3</b>	15.0	<b>18.3</b>	22.2	<b>35.0</b>	35.5	<b>21.4</b>
	5	19.9	<b>18.2</b>	24.8	<b>21.5</b>	15.7	<b>16.2</b>	17.8	<b>133.0</b>	34.0	<b>8.0</b>

5月5 半旬の平均気温は平年より1℃程度低く、最高気温にいたっては平年より3℃程度低く推移した。5月21日と24日にまとまった降雨がみられ、降水量は平年の7倍と多かった。降雨や曇天が続き、日照時間は平年の2割と短かった。

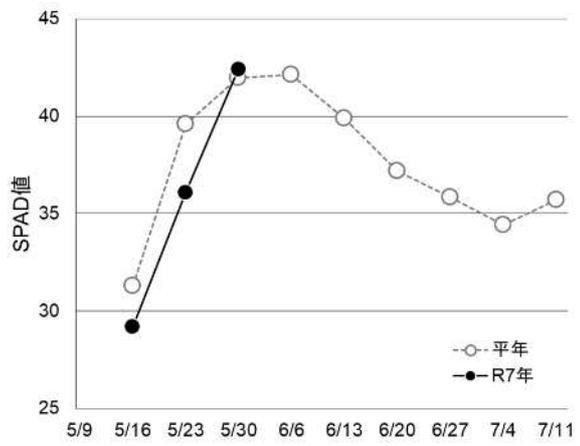
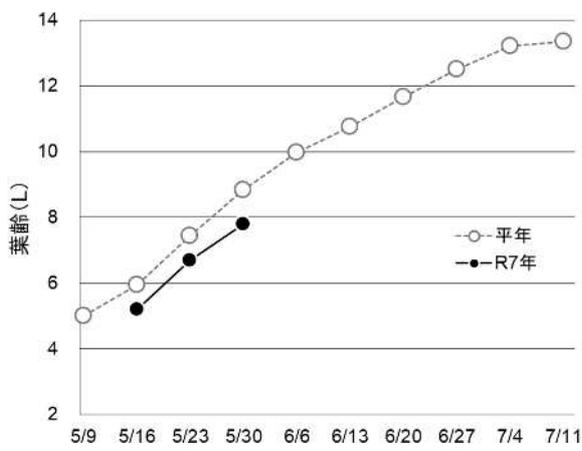
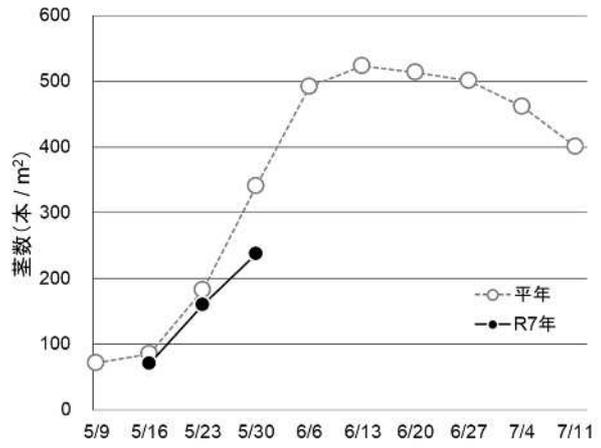
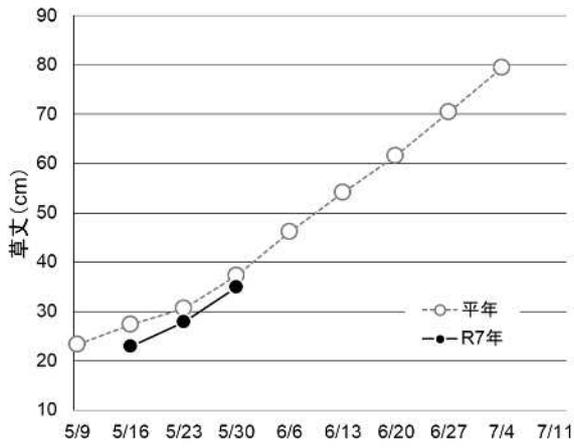
## 2 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4月25日移植 17.8株/m<sup>2</sup>(59株/坪)

(5月27日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	34.9	37.1	37.3	94	94	やや低い
茎数(本/m <sup>2</sup> )	238	253	340	94	70	少ない
葉齢(L)	7.8	8.3	8.8	-0.5	-1.0	遅い
葉色(SPAD)	42.4	40.2	42.0	2.2	0.4	平年並
葉色(葉色板)	4.2	3.8	4.3	0.4	-0.1	平年並

※平年値:平成30年~令和6年までの値から最高・最低値を除いた平均値



草丈は順調に伸びているが、5月5半旬の気温が低く、日照時間が短かったことから、葉齢の進みが遅く、茎数は平年の7割程度と少なく推移している。葉色の発現については前回の調査まで遅れがみられていたが、平年並みまで回復した。

### 3 今後の管理について

#### (1) 有効茎が確保された圃場では中干しに移行する。

- ・1株あたり20～25本の分けつ茎が確保され、株が開張して圃場の半分から奥の株間が見えなくなり出した頃が中干し開始の目安です。
- ・中干しは田面に軽い亀裂が入り、足を踏み入れれば足跡がわずかに付く程度に行ってください。
- ・中干しを行うことで土壌に酸素が供給されやすくなり、生育後半まで根の活性を維持することができます。
- ・下層へ根を伸ばして根量を増加させ、さらに株元の土壌を固めることで倒伏を軽減することができます。
- ・中干しによって地面を固めることで収穫作業が行いやすくなります。コンバインがはまり込むようなぬかるんだ圃場では必ず中干しを行ってください。
- ・中干しを行う前に溝切をすると、登熟期の水管理や収穫前の排水が行いやすくなります。
- ・移植が遅れた圃場では浅水管理により有効茎を確保した後に中干しを行ってください。

#### (2) 補植が終わった圃場では、置き苗を早急に処分する。

置き苗は病害虫、特に「いもち病」の発生源となるので処分してください。

#### (3) スクミリンゴガイによる被害が見られる圃場では薬剤による防除を行う。

スクミリンゴガイは5葉期頃までの(5月中旬以降に移植した生育の小さい)稲に大きな被害を及ぼします。被害が見られる圃場では薬剤による防除を行ってください。また極浅水にして貝の活動の抑制に努めてください。

#### (4) 雑草が見られる場合は中後期除草剤を散布する。

雑草が発生している圃場では、雑草の状況を見ながら中後期除草剤を選び、散布遅れのないよう速やかに処理してください。なお、薬剤によっては散布後に降雨が続くと効果が劣ることがあるため、気象を確認して散布してください。

中後期除草剤一覧

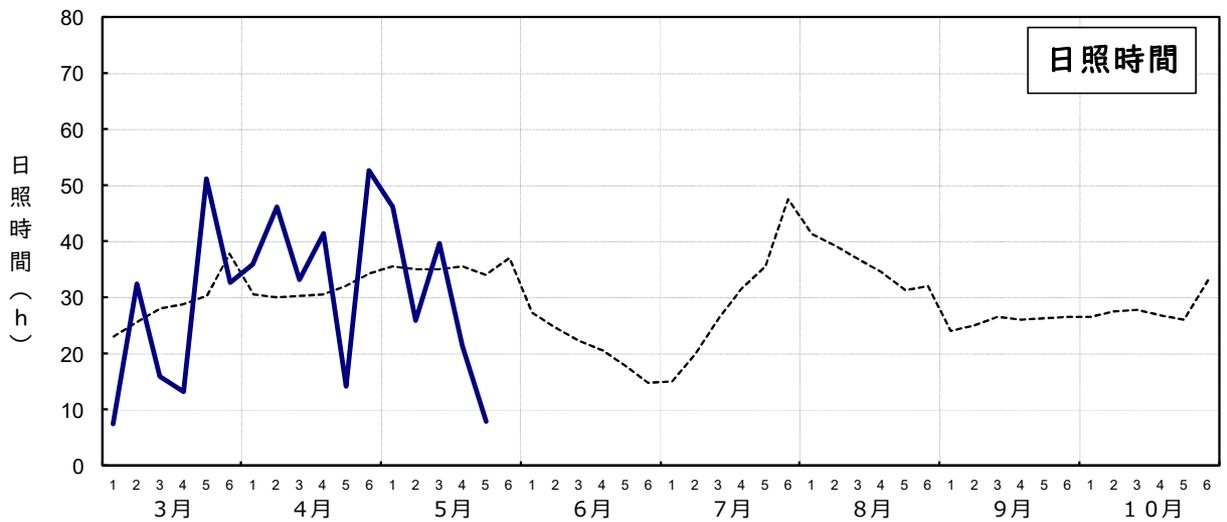
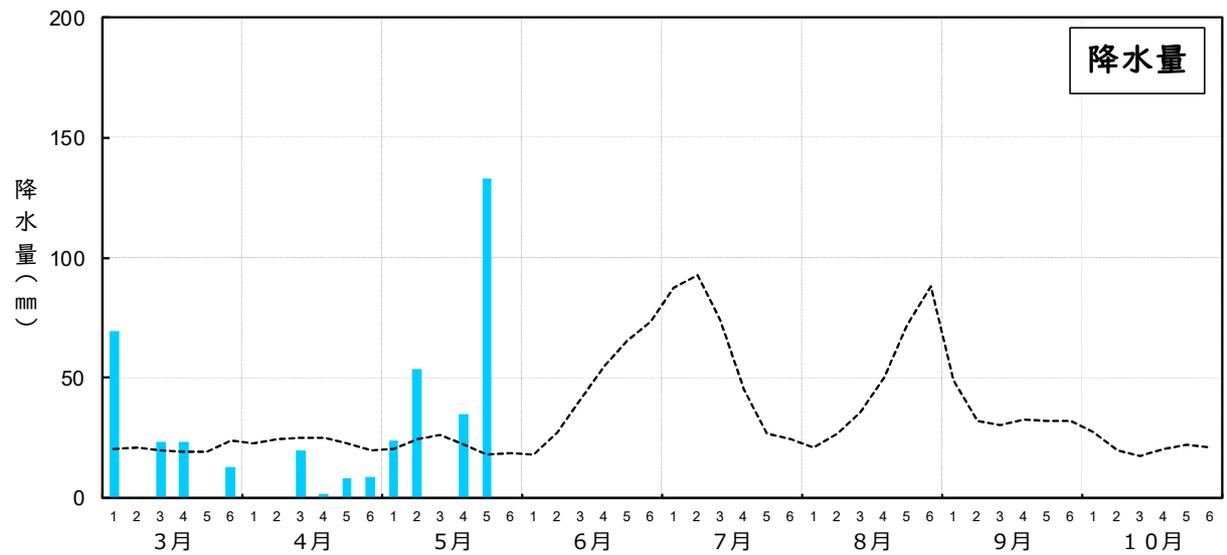
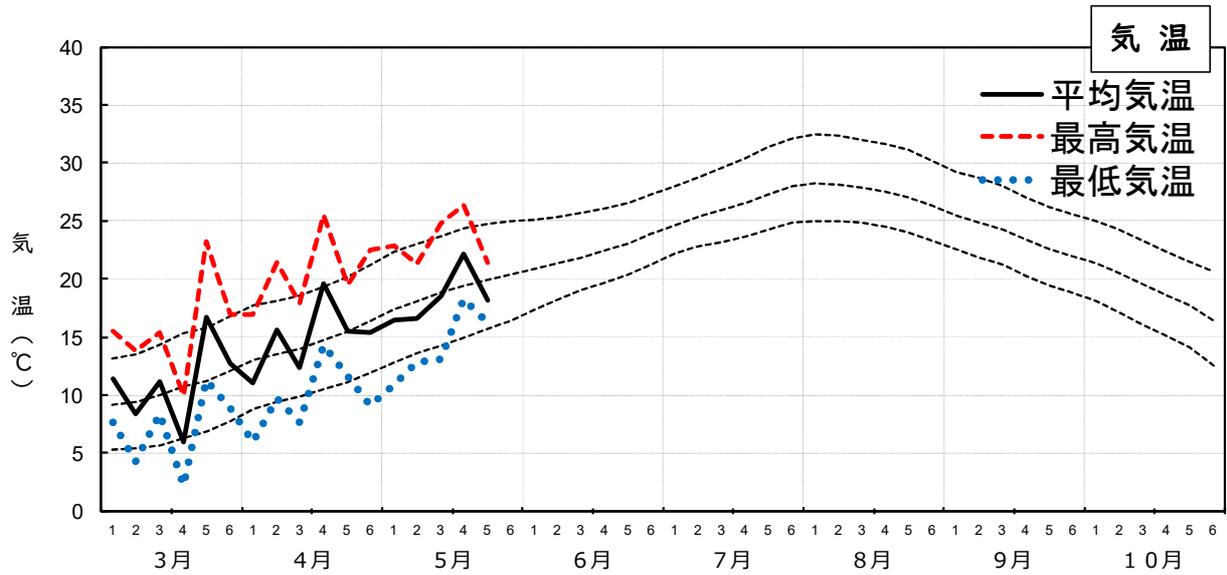
除草剤名	対象	使用時期	備考
クリンチャー1キロ粒剤	ノビエ	移植後7日～ノビエ4L ただし収穫30日前まで	湛水散布(3～4日湛水)
クリンチャーEW		移植後20日～ノビエ6L ただし収穫30日前まで	落水または湛水散布(3～4日湛水) 展着剤加用
バサグラン粒剤※	広葉雑草	移植後15日～収穫45日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間(浅水処理は5日間)入落水しない
バサグラン液剤※		移植後15日～収穫45日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間(浅水処理は5日間)入落水しない 高温条件下では薬害が生じやすいため夕方散布する
クリンチャーバスME液剤	ノビエ および	移植後15日～ノビエ5L ただし収穫50日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間(浅水処理は5日間)入落水しない 高温条件下では薬害が生じやすいため夕方散布する
ヒエクリーンバサグラン粒剤	広葉雑草	移植後15日～ノビエ4L ただし収穫45日前まで	極浅く湛水散布 最低3日間入落水しない

※バサグラン粒剤およびバサグラン液剤の成分は、水に溶解して効果が不安定になりやすいため、

除草効果を高めるために落水散布し、落水状態を最低3日間維持してください。

※県特別栽培表示制度に取り組んでいる圃場では、使用可能な薬剤の成分数に上限があるので注意してください。

令和7年産 水稻作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成 22 年～令和 2 年の平均値